

教育課程実施状況調査 中学校 社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
606人	29問	54.5	55.0	-0.5

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	地理	53.4	53.0	0.4
	歴史	55.3	56.6	-1.3
観点	知識・技能	54.1	54.1	0.0
	思考・判断・表現	55.3	57.1	-1.8
	主体的に学習に取り組む態度	40.8	42.6	-1.8
解答形式	選択式	54.4	55.2	-0.8
	短答式	60.3	58.5	-1.8
	記述式	43.5	45.7	-2.2

設問別正答率											
通し 番号	解 答 形 式	観 点			領 域		問題の内容	出題のねらい	県 正 答 率 (%)	全 国 正 答 率 (%)	全 国 と の 差
		知	思	態	地	歴					
1	選択	◎			◎		日本の地域的特色と地域区分	日本の気候の特色について理解している。	87.3	84.3	3.0
2	短答	◎			◎			日本の地形の特色について理解している。	48.7	44.7	4.0
3	短答	◎			◎			日本の人口ピラミッドの変化について理解している。	84.5	86.1	−1.6
4	記述		◎	◎	◎			日本の産業の特色について、資料に着目して考察し、表現している。	40.9	45.7	−4.8
5	選択		◎		◎		日本の諸地域	北海道、関東地方の農業について、資料をもとに考察している。	61.7	56.8	4.9
6	選択	◎			◎			九州地方の地形について理解している。	64.9	62.4	2.5
7	選択	◎			◎			東北、中部(北陸)地方でさかんな伝統産業や地場産業について理解している。	82.5	85.6	−3.1
8	選択	◎			◎			日本の各地方の工業の特色について理解している。	34.3	29.3	5.0
9	選択		◎	◎	◎		日本の地域的特色と地域区分	日本の海上輸送と航空輸送の特色についての理解をもとに、資料に着目して考察している。	26.7	26.9	−0.2
10	選択	◎		◎	◎		地域調査の手法	地域調査の手法について理解している。	21.6	25.0	−3.4
11	選択	◎			◎			地形図を読み取っている。	54.8	55.9	−1.1
12	選択	◎		◎		◎	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ポルトガルによる新航路の開拓についての理解をもとに、資料を読み取っている。	38.9	42.1	−3.2

13	選択	◎			◎	ヨーロッパ人との出会い と全国統一	宗教改革によるキリスト教世界の動きについて理解している。	41.9	34.9	7.0
14	短答	◎			◎		南蛮貿易について理解している。	59.2	61.1	-1.9
15	選択		◎		◎		織田信長の統一事業について、資料に着目して考察している。	86.0	90.0	-4.0
16	選択		◎		◎		豊臣秀吉の政策について、複数の資料をもとに考察している。	63.2	61.2	2.0
17	選択	◎			◎	江戸時代	金の含有量と物価変動について、複数の資料を読み取っている。	51.3	55.7	-4.4
18	短答	◎			◎		百姓一揆に結び付いた飢饉への対応について理解している。	48.8	42.1	6.7
19	選択	◎			◎		欧米諸国の接近について理解している。	49.2	50.1	-0.9
20	選択	◎			◎		江戸幕府による政治改革について理解している。	53.6	56.9	-3.3
21	選択		◎	◎	◎	明治時代	尊王攘夷から倒幕への転換について、資料をもとに考察している。	49.8	54.1	-4.3
22	選択	◎			◎		殖産興業政策について理解している。	60.9	67.8	-6.9
23	選択		◎		◎		文明開化のもとで生まれた思想に関する資料をもとに考察している。	64.4	68.8	-4.4
24	選択	◎			◎		樺太・千島交換条約で確定した領土について理解している。	56.8	54.1	2.7
25	選択		◎		◎		明治新政府の外交について、資料をもとに考察している。	59.0	64.3	-5.3
26	選択	◎		◎	◎		立憲制国家の仕組みについての理解をもとに、資料を読み取っている。	71.6	69.7	1.9
27	選択	◎		◎	◎	日本の地域的特色と地域区分	日本の産業の特色について、複数の資料を読み取っている。	40.6	41	-0.4
28	記述		◎	◎	◎	日本の諸地域	日本の各地方の産業について、複数の資料をもとに考察し、表現している。	46.0	45.7	0.3
29	選択	◎		◎	◎	ヨーロッパ人との出会い と全国統一	近世・近代の歴史についての理解をもとに、複数の資料を読み取っている。	31.7	32.9	-1.2

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(地理)地理、(歴史)歴史

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
13	41.9	34.9	選択	7.0
問題の内容	ヨーロッパ人との出会いと全国統一			
出題のねらい	宗教改革によるキリスト教世界の動きについて理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
18	48.8	42.1	短答	6.7
問題の内容	江戸時代			
出題のねらい	百姓一揆に結び付いた飢饉への対応について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
5	61.7	56.8	選択	4.9
問題の内容	日本の諸地域			
出題のねらい	北海道、関東地方の農業について、資料をもとに考察している。			

【課題が見られる設問】☆次のページに「地域調査の手法」に関連した授業例を提示

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
10	21.6	25.0	選択	-3.4
問題の内容	地域調査の手法			
出題のねらい	地域調査の手法について理解している。			
授業改善の手立て	対象地域を学校周辺とし、学校所在地の事情を踏まえて、防災、人口の偏在、産業の変容、交通の発達などの事象から適切に主題を設定し、観察や調査を位置付け、様々な資料を的確に読み取ったり、地形図を有効に活用して事象を説明したりするなどの作業的な学習活動を意図的・計画的に取り入れることが考えられる。その際に、「(3)日本の諸地域」における学校所在地を含む地域の学習や、「(4)地域の在り方」と結び付けて授業をデザインすることも考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
22	60.9	67.8	選択	-6.9
問題の内容	明治時代			
出題のねらい	殖産興業政策について理解している。			
授業改善の手立て	「明治政府の諸改革の目的」などに着目して課題(明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか)を設定し、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことの理解を目指すという展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
25	59.0	64.3	選択	-5.3
問題の内容	明治時代			
出題のねらい	明治新政府の外交について、資料をもとに考察している。			
授業改善の手立て	「明治政府の諸改革の目的」などに着目して課題(明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか)を設定し、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことの理解を目指すという展開が考えられる。			

こんな姿を
めざしたい!!



課題を見つけ、その解決に向けて 知識・技能を活用し追究できる生徒

課題の見られる設問 ③ (1) (2)

- (1) 地域調査の手法に関連して、地域調査の手法について理解しているかを問う問題。
→調査したい内容に合致する資料内容を判断する問題。
- (2) 地域調査の手法に関連して、地形図を読み取っているかを問う問題。
→方位、等高線、地図記号等の基本的技能を総合的に活用する問題。

分析と課題

- ・経年的に課題が見られる領域である。
- ・(2)の地形図の読み取りに関する問題以上に、(1)の調査の手法に関する問題に課題が見られた。
- ・「基本的技能を「覚える」ことが目的になっていないか」また、「地域調査に関する目的が明確になっているのか」という視点から実践を振り返ることが考えられる。

課題改善のために...

課題追究・解決したりする活動を通して技能を身に付ける。また、身に付けた技能を継続的に活用する場面を位置付ける。



地理的分野の学習で...

日々の学習における改善・充実

授業改善の
POINT

こんな
問いかけ
していませんか？

これはどこでしょう？

学校所在地の
事情を踏まえて
いますか？

あっ学校の近くの〇〇川です。

そうですね。では、これはど
こでしょう？

どこだろう…。
氾濫しています。

実は、これは過去に氾濫
した時の〇〇川です。

そうなんだ…。でも、〇〇川が氾濫した
ところをみたことがないような…。

何か「備え」があるのではないかな！

適切な主題を
設定していま
すか？

学校周辺の地域では、河川の
氾濫にどのように備えている
のだろうか？

学校周辺の地域では、河川の氾濫にどのように
備えているのだろうか？

【調査の手順と方法の考察】

- ・調査計画を立て、調査を行う
- ①地形図から土地の特色を調べる
- ②ハザードマップから危険箇所を調べる
- ③地形の特長や防災に関する事象を観察する

調査の手法に
ついて活用場
面を設定して
いますか？

【調査結果の考察】

- ・地形と関連する危険箇所の傾向性を捉える。
- ・危険箇所と避難所の位置関係を捉える。

(4) 地域の在り方と関連付けて実践することも考えられる。

安全な避難経路が確保されているだろうか？
(防災に関する地域の課題を考える)

【まとめ方の考察】

- ・地形図に避難所と危険箇所についての情報、防災に
関する課題をまとめ、地形図を示しながら説明する。

調査の手法に
ついて継続し
て活用してい
ますか？

考察場面や発表場面において地理的・地域等のICT活用も考えられる。

(参考) 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する解説書

○社会科・地理分野・公民科の指導におけるICTの活用について

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00941.html